

大阪府教育委員会は14日、市立西高校(西区)と南高校(中央区)、扇町総合高校(北区)を統廃合する方針を決めました。扇町総合高校校地に新校を2022年4月に開校する予定です。

これは、維新政治のもと13年11月に定められた府立高校・大阪市立高校7校程度廃校計画にもとづくものです。高校統廃合計画は、憲法が保障する子どもの学ぶ権利を奪うものであり、撤回すべきです。

子どもの数の減少で力向上で有効な施策で、ある少人数学級・35人学級を高校に広げる役割を担っています。市立高校の存続・発展は、地域の振興にとっても重要です。と

南高校は37年に南高校へと改名し、創立94周年です。

慎重な議論必要
こうした歴史と伝統をもち、多くの卒業生を送り出し、地域にねぎとして社会に貢献して

高校の「再編整備」は、生徒や保護者の意見をよく聞き、学校関係者のあいだでの慎重な議論と合意が必要で

す。教育行政が高校に対して強権的に統廃合を押し付けることは許されません。

すべての希望する子どもに高校教育を保障するため、府民的討論と共同を広げ、高校を守り発展させる取り組みを進めることが求められます。

(小林裕和・日本共産党大阪府委員会文教委員 会長責任者)

奪う権利学ぶ 大阪市立3高校統廃合方針 高校再編整備計画は撤回を

生徒が減るときには、子どもの数が増がゼロになると危惧されるべきは、全国平均え、保護者や学校関係者から、小・中学校の教室不足を心配する声が上がっています。学業学校として設立され、48年に学制改革で開校し、48年に扇町商業学校として

西高校は1921年設立し、創立80周年です。

扇町総合高校は23年

教育条件整備を

統廃合の理由としてあげられているのは、

統廃合の理由としてあげられているのは、(同8学級)を縮小することが必要です。

学校は長い年月をかに西高校(英語、流通001年に扇町総合



統廃合の対象校とされた大阪市立西高校
大阪府西区